

令和5年度「健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート」結果報告書 (喫煙・飲酒分野抜粋)

調査概要

調査目的：平成30年3月に策定した「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン」において、市民の健康づくりに関する活動状況を把握するために経年で実施することとしており、今後の健康づくり施策の推進の基礎資料とするものです。

対 象 者：15歳以上の市民5,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

調査期間：令和5年4月19日（水）～令和5年5月26日（金）

回 収 数：1,421件（回収率28.4%）

調査項目：年齢、行政区等の基礎項目、身長・体重・歯の数、健康状態、社会参加、食事、身体活動・運動、健（検）診・歯科健診、睡眠、喫煙、飲酒 等

＜調査結果の表示について＞

- ・ 表中の性別欄の「全体」には、性別の問に対して、「（男性、女性の）その他」「答えたくない」「無回答」と回答した方を含みます。
- ・ 調査結果の表中の最も多い割合のものを で網掛けしています。
- ・ 「健康長寿のまち・京都推進プラン」に掲げる参考数値目標を の中に記載しています。
- ・ その他の参考数値等を の中に記載しています。

1 基本情報（喫煙・飲酒が及ぼす影響をふまえ調査対象者を抜粋）

設問1 性別

選択肢	男	女	答えたくない	その他	無回答・無効	総数
回答数	585	820	11	0	5	1421
回答率	41.2%	57.7%	0.8%	0.0%	0.4%	100.0%

設問2 年齢

選択肢	15～19 歳	20～64 歳	65 歳以上	無回答
回答数	42	782	590	7
回答率	3.0%	55.0%	41.5%	0.5%

2 健康への関心

設問8 健康について関心がありますか。（1つに○）

健康への関心については、『ある』の割合が81.6%と最も多い。しかし、令和3年度調査と比較すると、『ある』の割合は0.4Pt低下した。

健康への関心の有無	調査結果	
	前回 (令和3年度)	令和5年度
ある	82.0%	81.6%
ない	3.2%	3.1%
どちらとも言えない	13.8%	15.0%

設問9 あなたの普段の生活について、お答えください。（あてはまる番号すべてに○）

普段の生活でできていることとしては、全体のうち、『たばこを吸わない』が82.0%と最も多く、次いで『お酒を飲み過ぎない』が77.7%であった。一方、普段の生活で興味がなくしていないこととして、『歯間ブラシや糸ようじを使用する』の17.2%に次いで、『たばこを吸わない』が11.3%、お酒を飲み過ぎない』が11.3%と高かった。

(%)

あなたの普段の生活について	できている	取り組みたいが実行できない	興味がなくしていない
適度に運動をするか身体を動かす	47.7	43.3	7.0
睡眠を十分にとる	61.7	35.5	1.5
たばこを吸わない	82.0	4.6	11.3
お酒を飲み過ぎない	77.6	11.2	9.3
ストレスをためない	50.6	44.1	2.8
規則正しく朝・昼・夕の食事をとる	73.3	22.0	3.5
塩分を取りすぎない	55.6	36.3	6.2
野菜をたくさん食べる	58.5	37.0	3.0
肉・魚・卵・大豆製品を毎日食べる	67.0	28.1	3.7
食べ過ぎない	58.4	36.6	3.4
ゆっくりよく噛んで食べる	37.4	55.9	5.5
丁寧に歯をみがく	69.6	25.8	2.6
歯間ブラシや糸ようじを使用する	52.6	27.4	17.2
定期的に健（検）診を受ける	64.6	25.7	7.2
適正体重を維持する	53.3	39.3	5.7

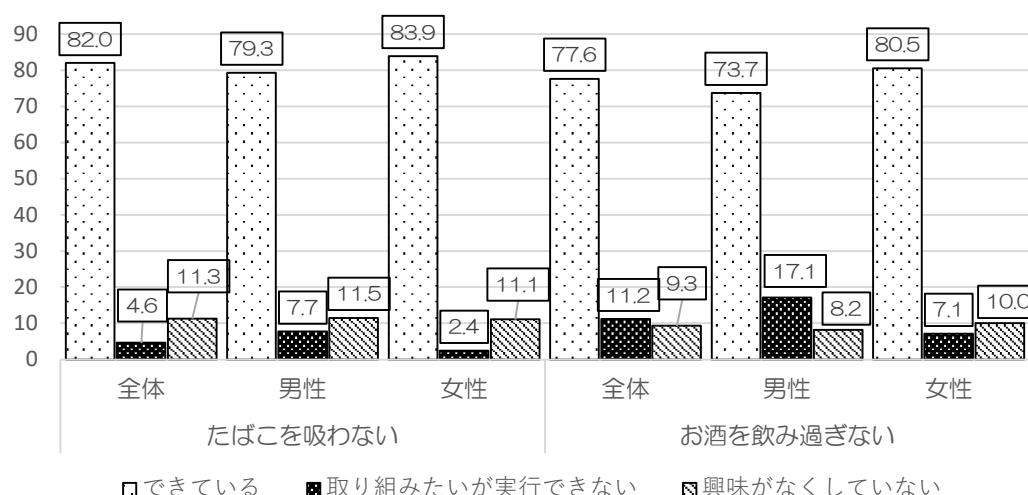
(%)

たばこを吸わない	性別	令和5年度
できている	全体	82.0
	男性	79.3
	女性	83.9
取り組みたいが実行できない	全体	4.6
	男性	7.7
	女性	2.4
興味がなくしていない	全体	11.3
	男性	11.5
	女性	11.1

(%)

お酒を飲み過ぎない	性別	令和5年度
できている	全体	77.6
	男性	73.7
	女性	80.5
取り組みたいが実行できない	全体	11.2
	男性	17.1
	女性	7.1
興味がなくしていない	全体	9.3
	男性	8.2
	女性	10.0

< 普段の生活について項目別割合 >



設問 10 以下※の言葉を御存じか、お答えください。（1 つに○）

※「健康寿命」「フレイル」「オーラルフレイル」「ロコモティブシンドローム」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」

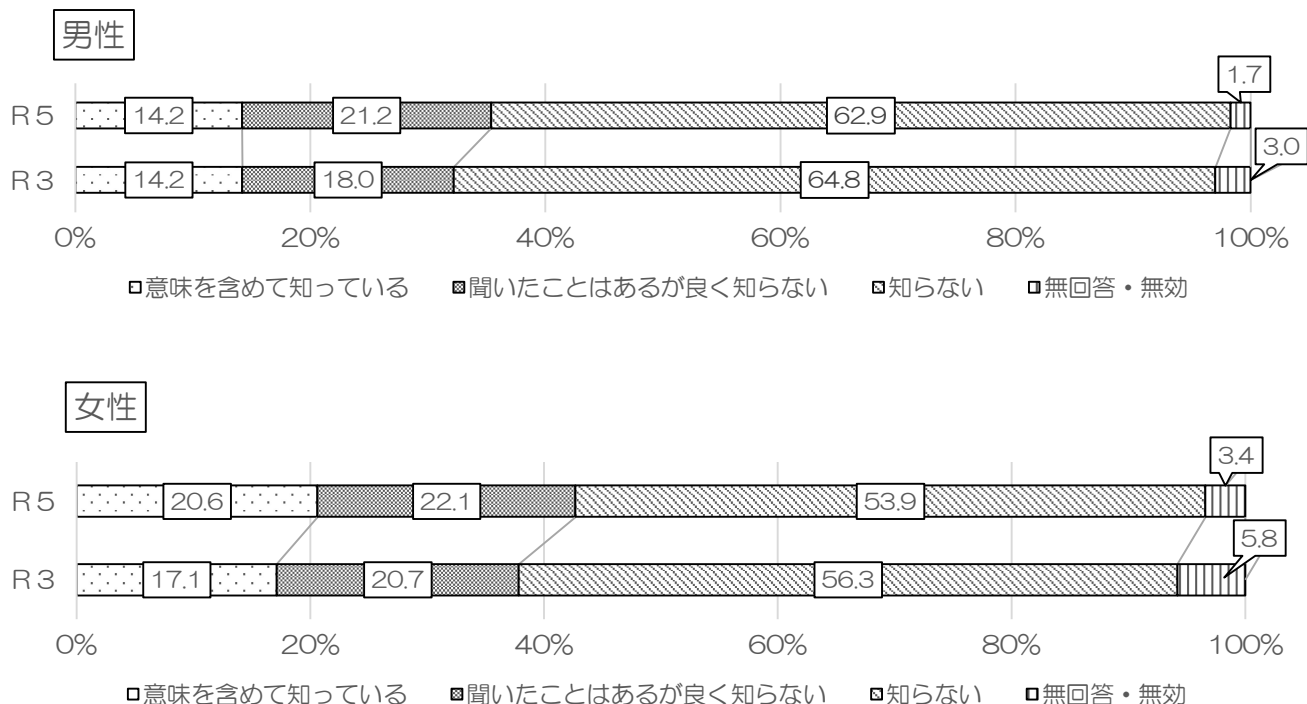
「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っているかについて全年齢をみると『知らない』と答えた人の割合が57.4%と最も多く、次いで『聞いたことはあるが良く知らない』が21.8%、『意味を含めて知っている』が18.0%だった。しかし、『意味を含めて知っている』と答えた人の割合は、前回調査から2.2Pt増加した。性別・年代別でみると、『意味を含めて知っている』と答えた人は15～19歳の男性が25.0%と最も多く、前回調査から18.1Pt増加した。

（参考）欄のとおり、『言葉や意味を知っている』と答えた市民の割合を年代別でみると、15～19歳は35.7%と5.7Pt増加、20～64歳は41.4%と1.3Pt増加、65歳以上は38.1%と7.9Pt増加。

(%)

COPD に 対する知識	性別	調査結果							
		全年齢		15～19歳		20～64歳		65歳以上	
		前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度
意味を含めて知っている	全体	15.8	18.0	3.3	19.0	19.4	20.3	12.4	14.9
	男性	14.2	14.2	6.9	25.0	17.5	16.1	11.3	10.8
	女性	17.1	20.6	0.0	11.1	20.7	22.8	13.3	18.0
聞いたことはあるが良く知らない	全体	19.6	21.8	26.7	16.7	20.6	21.0	17.8	23.2
	男性	18.0	21.2	17.2	12.5	20.2	21.3	15.5	21.7
	女性	20.7	22.1	35.5	22.2	20.7	20.7	19.7	24.2
知らない	全体	59.6	57.4	70.0	61.9	59.3	58.3	59.5	55.9
	男性	64.8	62.9	75.9	58.3	61.5	62.3	67.3	64.3
	女性	56.3	53.9	64.5	66.7	57.9	56.1	53.8	50.1
（参考）『言葉や意味を知っている』と答えた市民の割合									
	全体	35.4	39.8	30.0	35.7	40.0	41.3	30.2	38.1
	男性	32.2	35.4	24.1	37.5	37.7	37.4	26.9	32.5
	女性	37.8	42.7	35.5	33.3	41.4	43.5	32.9	42.2

<COPD に対する知識の割合（性別）>



3 喫煙に関すること

設問18 喫煙されていますか。(1つに○)

『喫煙している』と答えた人の割合を性別・年代別でみると、20～64歳の男女が最も多く、男性が18.7%、女性が6.3%だった。前回調査と比較すると、男性は20歳～64歳5.1Pt減少、65歳以上で1.5Pt増加、女性は20～64歳で1.4Pt減少、65歳以上で2.2Pt減少した。
『過去に喫煙していたが止めた』と答えた人の割合を全年齢でみると、24.9%と前回調査から1.3Pt減少した。性別・年代別でみると20～64歳の女性が2.6Ptと最も多く増加した。
『もともと喫煙していない』と答えた人の割合は、61.3%と前回調査から0.6Pt増加した。性別・年代別でみると20～64歳の男性で8.8Ptと最も多く増加し、65歳以上の女性で4.4Pt減少した。
(再掲) 欄のとおり、成人のみで『喫煙している』と答えた人の割合を全体でみると、10.2%と前回から1.7Pt減少した。性別でみると男性では2.1Pt、女性では1.7Pt減少した。

喫煙者の割合	性別	調査結果							
		全年齢		15～19歳		20～64歳		65歳以上	
		前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度
喫煙している	全体	11.7	9.9	1.7	0.0	13.9	11.3	9.4	8.8
	男性	18.9	16.8	3.4	0.0	23.8	18.7	14.6	16.1
	女性	6.7	5.1	0.0	0.0	7.7	6.3	5.7	3.5
過去に喫煙していたが、止めた	全体	26.2	24.9	1.7	0.0	22.4	22.9	33.4	29.3
	男性	44.6	39.1	3.4	0.0	36.3	32.3	58.6	51.4
	女性	13.9	14.6	0.0	0.0	13.9	16.5	15.2	13.0
もともと喫煙していない	全体	60.7	61.3	96.7	97.6	63.4	65.1	54.8	53.9
	男性	35.8	42.4	93.1	95.8	39.6	48.4	25.6	29.7
	女性	77.9	74.9	100.0	100.0	78.1	76.3	76.1	71.7

(再掲) 喫煙者の割合 (成人のみ)			
(R3年度 n=1681 R5年度 n=1372)			
	性別	前回 (令和3年度)	令和5年度
喫煙している	全体	11.9	10.2
	男性	19.6	17.5
	女性	6.8	5.1
過去に喫煙していたがやめた	全体	27.2	25.7
	男性	46.6	40.8
	女性	14.4	15.0
もともと喫煙していない	全体	59.6	60.3
	男性	33.1	40.1
	女性	77.2	74.3

③喫煙する市民の割合 (※国民生活基礎調査2016)

成人男性 H29年度(ベースライン)27.0%、
R5年度(目標値)16%

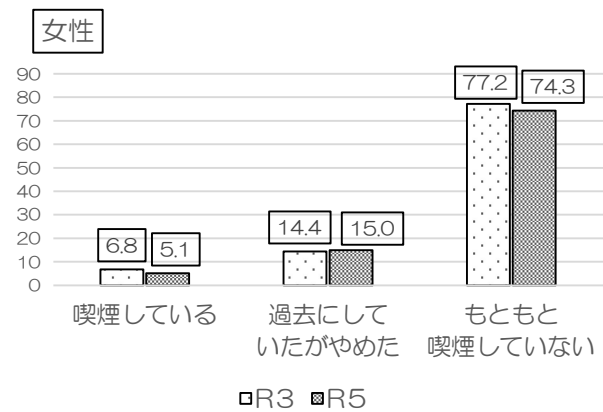
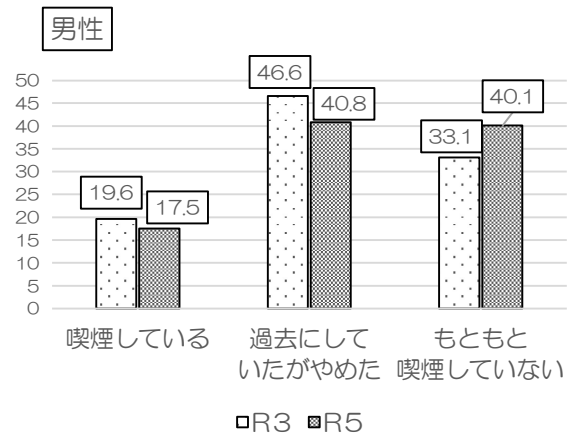
成人女性 H29年度(ベースライン)9.9%、
R5年度(目標値)7%

(参考) 喫煙の状況 (令和元年度・令和4年度国民生活基礎調査)

※毎日吸っている+時々吸っていると回答した人数の割合

成人のみ	京都市		全国	
	R1年度	R4年度	R1年度	R4年度
総数	15.0%	13.0%	18.3%	16.1%
男性	22.7%	21.2%	28.8%	25.4%
女性	8.3%	6.2%	8.8%	7.7%

<喫煙者の割合 (再掲：成人のみ)>



(前の設問で『喫煙している』と答えた場合：R5年度 n=141)

設問18-1 あなたが喫煙している製品についてお聞きます。(あてはまるものすべてに○)

喫煙している製品は、全体のうち、『紙巻きたばこ』が68.8%と最も多く、性別でみても男性、女性ともに紙巻きたばこの使用が高い。『紙巻きたばこ』以外の製品を使っている割合は、男性の方が高い。

(%)

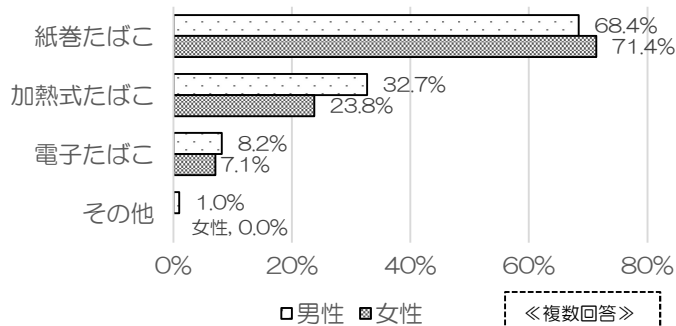
	全体	男性	女性
紙巻きたばこ(※1)	68.8	68.4	71.4
加熱式たばこ(※2)	29.8	32.7	23.8
電子たばこ	8.5	8.2	7.1
その他(※3)	0.7	1.0	0.0

【参考】

※1 紙巻きたばことは、従来型のたばこ

※2 わが国で販売されている加熱式たばこは、リルハイブリッド、アイコス、グロー、プルーム、パルズの5種類

※3 その他とは、葉巻、パイプたばこ、手巻きたばこ、かぎたばこ、かみたばこ、水パイプたばこ、キセルを指す

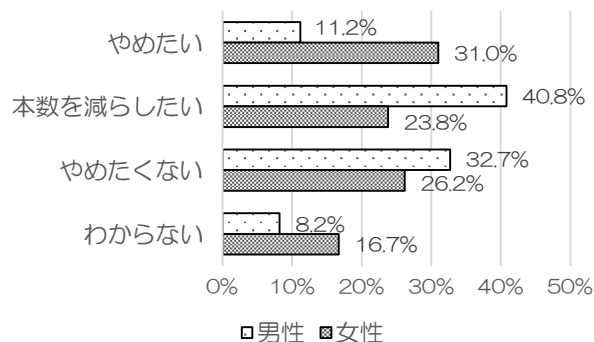


設問18-2 喫煙をやめたいと思いますか。(1つに○)

喫煙をやめたいかという質問項目に対して、全体のうち『本数を減らしたい』が35.5%と最も高く、次いで、『やめたくない』が30.5%、『やめたい』が17.0%であった。性別でみると、男性は、『本数を減らしたい』の40.8%、女性は、『やめたい』が31.0%と最も高かった。

(%)

	全体	男性	女性
やめたい	17.0	11.2	31.0
本数を減らしたい	35.5	40.8	23.8
やめたくない	30.5	32.7	26.2
わからない	11.3	8.2	16.7



設問１９ 過去１箇月に受動喫煙を受けた場所がありますか（１つに○）

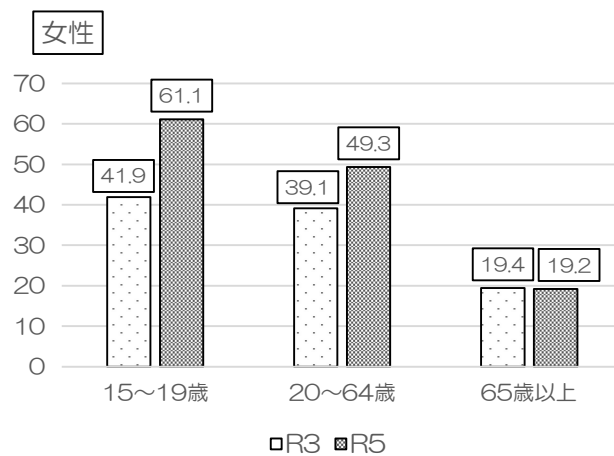
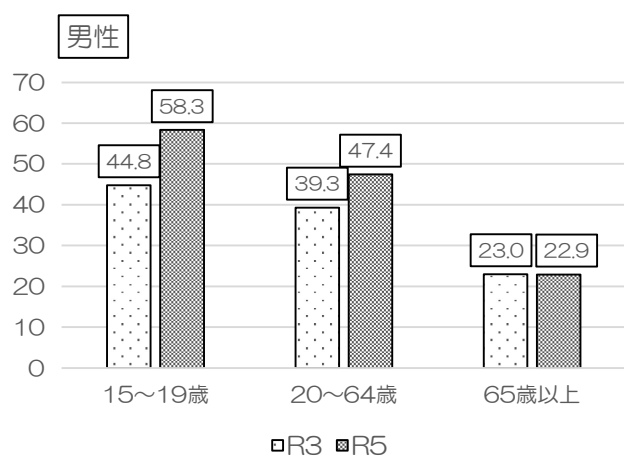
過去１箇月に受動喫煙を受けた場所が『ある』と答えた人の割合を全年齢で見ると、３７．２％であり前回調査から５．８Pt 増加した。年代別で見ると１５～１９歳で１６．２Pt と最も大きく増加した。性別・年代別で見ると最も多く『ある』と答えたのは男女ともに１５～１９歳で、男性が５８．３％、女性が６１．１％だった。

『ない』と答えた人の割合を全年齢で見ると、４７．６％であり、前回調査から１３．９Pt 減少した。性別・年代別で見ると最も多く『ない』と答えたのは男女ともに６５歳以上で、男性が６０．２％、女性が４３．７％だった。

(%)

受動喫煙を受けたことが ある人の割合	性別	調査結果							
		全年齢		１５～１９歳		２０～６４歳		６５歳以上	
		前回 (令和３年度)	令和５年度	前回 (令和３年度)	令和５年度	前回 (令和３年度)	令和５年度	前回 (令和３年度)	令和５年度
ある	全体	31.4	37.2	43.3	59.5	39.3	48.7	20.8	20.7
	男性	32.5	37.4	44.8	58.3	39.3	47.4	23	22.9
	女性	31.0	37.0	41.9	61.1	39.1	49.3	19.4	19.2
ない	全体	61.5	47.6	53.3	35.7	57.7	45.8	67.1	50.7
	男性	62.2	53.5	51.7	33.3	57.6	49.7	68.9	60.2
	女性	61.2	43.7	54.8	38.9	57.7	43.5	65.9	43.7

<受動喫煙を受けたことがある人の割合（性別・年代別）>



(前の設問で『ある』と答えた場合： R3 年度 n=553、R5年度 n=529)

設問 19-1 受動喫煙を受けた場所は、どちらですか（あてはまるものすべて○）

過去 1 箇月に受動喫煙を受けた場所を全年齢で見ると、『路上』と答えた人の割合が 59.0%と最も多く、次いで『飲食店』が 35.2%『家庭』が 20.4%、だった。前回調査と比較すると、『家庭』で 5.1Pt と最も大きく減少し、『飲食店』で 12.8Pt と最も大きく増加した。

性別・年代別で見ると、15～65歳以上の全年齢において『路上』と答えた人の割合が最も多い。次いで、15～19歳の男性では『家庭』、その他は『飲食店』と答えた人が多かった。

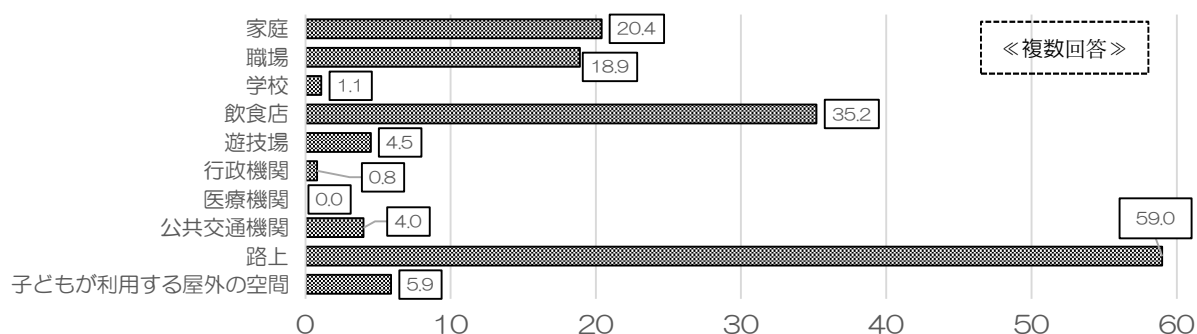
(%)

受動喫煙を受けた場所	性別	調査結果							
		全年齢		15～19歳		20～64歳		65歳以上	
		前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度
家庭	全体	25.5	20.4	42.3	24.0	22.6	20.5	30.1	19.7
	男性	11.8	3.4	38.5	8.0	9.2	2.6	12.7	4.9
	女性	35.6	16.8	46.2	16.0	31.6	17.6	45.1	14.8
職場	全体	21.9	18.9	3.8	8.0	26.4	22.3	13.7	10.7
	男性	34.1	12.1	7.7	4.0	43.0	13.6	21.1	9.0
	女性	13.1	6.4	0.0	4.0	16.0	8.1	7.3	1.6
学校	全体	0.9	1.1	0.0	8.0	1.3	1.0	0.0	0.0
	男性	0.9	0.9	0.0	8.0	1.4	0.8	0.0	0.0
	女性	0.9	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
飲食店	全体	22.4	35.2	3.8	24.0	22.6	37.3	24.2	30.3
	男性	22.3	14.6	0.0	12.0	19.7	14.7	29.6	13.9
	女性	22.2	20.0	7.7	12.0	24.0	21.8	19.5	16.4
遊技場（ゲームセンター、パチンコ、競馬場）	全体	4.7	4.5	0.0	8.0	3.8	4.7	7.8	2.5
	男性	6.6	3.0	0.0	8.0	5.6	2.9	9.9	1.6
	女性	3.4	1.5	0.0	0.0	2.7	1.8	6.1	0.8
行政機関（市役所など）	全体	0.4	0.8	0.0	0.0	0.3	0.8	0.7	0.8
	男性	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4	0.0
	女性	0.3	0.4	0.0	0.0	0.4	0.3	0.0	0.8
医療機関	全体	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	男性	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
公共交通機関	全体	3.4	4.0	15.4	8.0	3.0	3.9	2.6	3.3
	男性	4.4	1.3	23.1	0.0	2.1	1.0	5.6	2.5
	女性	2.8	2.5	7.7	8.0	3.6	2.6	0.0	0.8
路上	全体	55.7	59.0	76.9	80.0	58.0	58.8	47.7	54.9
	男性	51.5	23.3	76.9	48.0	50.0	21.0	52.1	24.6
	女性	58.4	35.0	76.9	32.0	62.7	36.7	43.9	30.3
子どもが利用する屋外の空間（公園など）	全体	4.0	5.9	7.7	12.0	4.3	5.5	2.6	4.9
	男性	2.6	2.5	0.0	8.0	2.8	1.6	2.8	3.3
	女性	5.0	3.2	15.4	4.0	5.3	3.7	2.4	1.6

(参考) 受動喫煙の状況（令和元年度国民健康・栄養調査：全国）

家庭（6.9%） 職場（26.1%） 学校（3.4%） 飲食店（29.6%） 遊技場（27.1%）
行政機関（4.1%） 医療機関（2.9%） 公共交通機関（8.6%） 路上（27.1%） 子どもが利用する屋外の空間（8.9%）

<受動喫煙を受けた場所の割合>

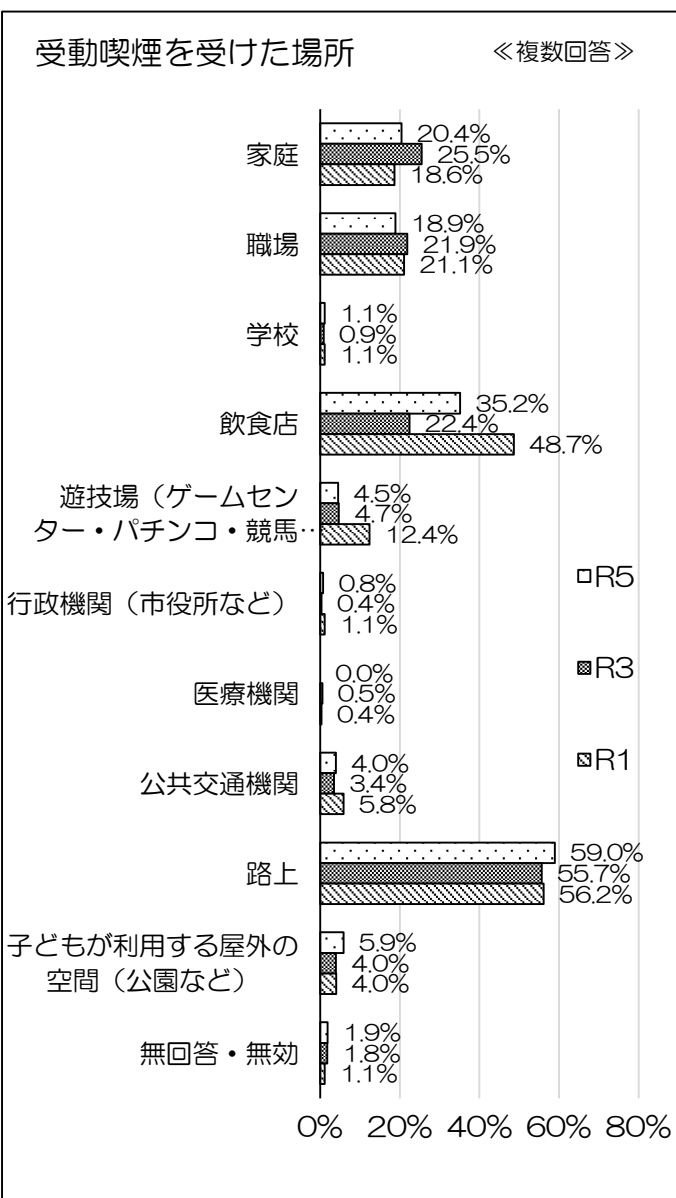
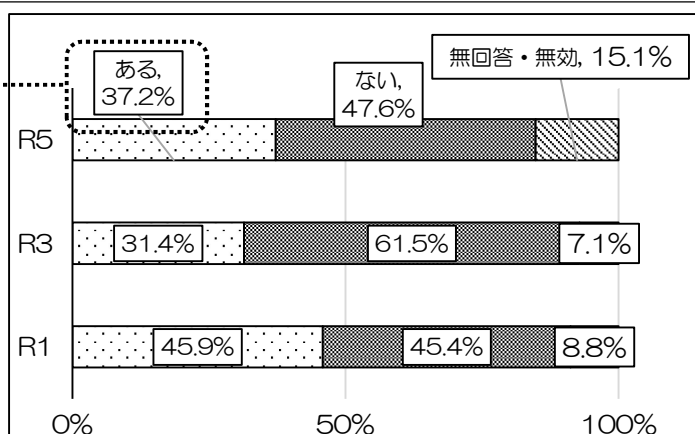


◆資料4-2 令和5年度 健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート調査《結果報告》（案）から抜粋 ◆

◎受動喫煙の状況

過去 1 箇月に受動喫煙（他人の喫煙によりたばこの煙にさらされること）を受けたかについては、令和3年度と比較すると、受動喫煙を受けたことが「ある」が5.8ポイント増加しているものの、改正健康増進法施行前の令和元年度と比較すると、8.7ポイント減少している。

受動喫煙を受けた場所については、令和3年度と比較すると、「飲食店」が12.8ポイント増加しているが、令和元年度と比較すると13.5ポイント減少している。



4 飲酒に関すること

設問20 お酒を飲む頻度はどれくらいですか（1つに○）

お酒を飲む頻度を全年齢で見ると、『ほとんど飲まない（飲めない）』と答えた人の割合が全体で49.6%と最も多い。次いで『時々』が28.4%、『毎日』が19.4%だった。前回調査と比較すると、『毎日』と答えた人の割合が1.4Pt減少、『時々』と答えた人の割合が4.1Pt増加、『ほとんど飲まない（飲めない）』と答えた人の割合が2.1Pt減少した。

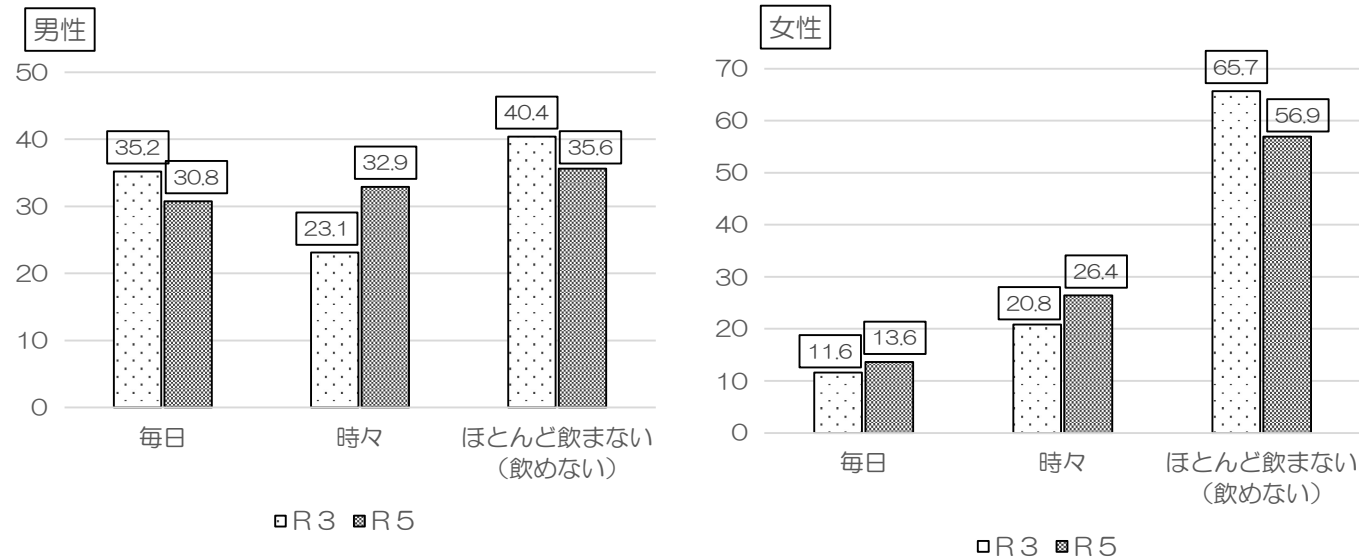
（再掲）欄のとおり、成人のみを性別で見ると、男性が35.6%、女性が56.9%と『ほとんど飲まない（飲めない）』と答えた人が最も多く、前回調査から男性は4.8Pt、女性8.8Pt減少した。『毎日』と答えた男性の割合は低下したが、『毎日』と答えた女性、『時々』と答えた男性、女性の割合は増加した。

飲酒の頻度	性別	調査結果							
		全年齢		15～19歳		20～64歳		65歳以上	
		前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度
毎日	全体	21.2	19.8	1.7	0.0	20.1	20.1	24.3	21.2
	男性	35.7	29.4	3.4	0.0	33.2	26.1	41.1	36.5
	女性	11.5	13.3	0.0	0.0	12.0	16.3	11.6	10.0
時々	全体	24.3	28.4	0.0	4.8	32.7	36.6	15.4	19.2
	男性	25.1	31.8	0.0	4.2	33.2	40.3	17.2	23.7
	女性	24.1	26.0	0.0	5.6	32.5	34.1	14.2	15.9
ほとんど飲まない（飲めない）	全体	51.8	49.6	95.0	90.5	46.6	43.1	55.8	55.3
	男性	37.8	37.8	93.1	87.5	33.5	33.5	38.2	38.2
	女性	61.4	57.8	96.8	94.4	54.4	49.1	68.5	67.6

（再掲）飲酒する市民の割合（成人のみ） （R3年度 n=1681、R1年度 n=1372）			
	性別	前回 (令和3年度)	令和5年度
毎日	全体	22.0	20.6
	男性	35.2	30.8
	女性	11.6	13.6
時々	全体	21.7	29.1
	男性	23.1	32.9
	女性	20.8	26.4
ほとんど飲まない（飲めない）	全体	55.4	48.3
	男性	40.4	35.6
	女性	65.7	56.9

③飲酒する市民の割合
（※京都市思春期に関する意識調査 2013 回答数：1100 件）
未成年者（15～19 歳）
H29（ベースライン）19.5%， R5（目標）0%

< 飲酒頻度の割合（再掲：成人のみ） >



(前の設問で『毎日』『時々』と答えた場合：R3年度 n=801、R5年度 n=685)

設問20-1 飲酒日の1日当たりの飲酒量はどれくらいですか(日本酒に換算してお答えください)。
(1つに〇)

*男性の場合、適正なアルコール摂取量は40g未満とされており、日本酒に換算すると1日当たりの
飲酒量は1～2合未満が適正量となる。女性の場合は20g未満とされており、1合未満が適正量となる。

1日当たりの飲酒量について全年齢を性別で見ると、男性では『1合～2合未満』と答えた人の割合が最も多く36.0%であるが、前回調査から0.4Pt減少した。女性では『1合未満』と答えた人の割合が最も多く58.1%だったが、前回調査から4.1Pt減少した。

(再掲) 欄のとおり、成人のなかで生活習慣病のリスクを高める量『(男性) 2合以上』『(女性) 1合以上』と答えた人の割合をみると、全年齢において男性は27.4%と前回調査から2.5Pt増加した。女性も41.0%と5.4Pt増加した。年代別で見ると、男性は20～64歳で33.5%と前回調査から3.9Pt増加し、65歳以上でも19.3%と0.6Pt増加した。女性も20～65歳で46.1%と前回調査から4.9Pt増加し、65歳以上で28.4%と3.9Pt増加した。

(%)

1日当たりの飲酒量	性別	調査結果							
		全年齢		15～19歳		20～64歳		65歳以上	
		前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度	前回 (令和3年度)	令和5年度
1合未満	全体	49.4	46.4	0.0	100.0	48.3	43.1	51.7	52.1
	男性	38.3	35.8	0.0	100.0	37.0	31.1	40.7	42.0
	女性	62.2	58.1	0.0	100.0	58.6	53.4	70.6	69.3
1～2合未満	全体	32.6	30.8	0.0	0.0	32.2	30.5	33.6	31.5
	男性	36.4	36.0	0.0	0.0	33.2	34.5	40.7	38.0
	女性	28.0	25.2	0.0	0.0	31.3	27.2	21.1	20.5
2～3合未満	全体	12.5	17.4	100.0	0.0	9.5	20.5	9.3	11.8
	男性	18.5	20.7	100.0	0.0	15.1	25.2	14.3	14.7
	女性	5.7	14.0	0.0	0.0	4.3	16.8	0.9	6.8
3合以上	全体	4.2	4.5	0.0	0.0	5.0	5.2	3.1	3.4
	男性	6.3	6.7	0.0	0.0	8.0	8.3	4.4	4.7
	女性	1.9	1.9	0.0	0.0	2.3	2.2	0.9	1.1

(再掲) 男性：『2合以上』、女性『1合以上』と回答した人の割合(成人のみ)

2合以上	男性	24.9	27.4			29.6	33.5	18.7	19.3
1合以上	女性	35.6	41.0			41.2	46.1	24.5	28.4

(参考) 日本酒1合(180ml)＝純アルコール量20gの目安
ビール500ml, 酎ハイ・ハイボール(7%)350ml,
ウィスキーダブル1杯60ml, ワイン2杯240ml

㊿生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合
(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上)
(※国民健康保険特定健康診査、後期高齢者健康診査(40歳以上～))
成人男性 H29(ベースライン)13.7%, R5(目標)12.0%
成人女性 H29(ベースライン)9.2%, R5(目標)8.0%

<1日当たりの飲酒量の割合(全年齢・性別)>

